

鎌倉幕府と執権政治

名前 _____

_____ 月 _____ 日

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

今日の問い

鎌倉幕府は、将軍と御家人をどう結びつけ、どのように力を広げたのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 源頼朝と鎌倉幕府

幕府のしくみ

2 国ごとに置かれ、軍事・警察の仕事をした役職。

3 荘園や公領に置かれ、年貢の取り立てなどを行った役職。

6 将軍に従い、御恩と奉公の関係で結ばれた武士。

平氏をたおした ¹ 源頼朝 は、1185年、国ごとに軍事・警察を担う ² 守護 を、荘園や公領ごとに年貢の取り立てなどを行う ³ 地頭 を置くことを朝廷に認めさせ、1192年には ⁴ 征夷大將軍 に任命された。鎌倉を本拠とするこの武士の政権を ⁵ 鎌倉幕府 という。

幕府は、将軍に従う武士である ⁶ 御家人 に支えられていた。将軍は御家人の領地を保障し、手がらにに応じて新しい領地を与える ⁷ 御恩 をほどこし、御家人は京都や鎌倉の警備や、戦いのときに命をかけて戦う ⁸ 奉公 をつとめた。土地を仲立ちとしたこの関係を封建制度という。

関係	内容
⁷ <u>御恩</u> 将軍 → 御家人	御家人の領地を保障し、手がらにに応じて新しい領地を与える
⁸ <u>奉公</u> 御家人 → 将軍	京都や鎌倉の警備にあたり、戦いが起これば命をかけて戦う

2 執権政治と承久の乱

幕府の政治

10 将軍を補佐して政治の実権をにぎった地位。北条氏が代々ついた。

12 1221年、後鳥羽上皇が幕府をたおそうと兵を挙げた争い。

9 源頼朝の妻。承久の乱で御家人に結束をよびかけた。

15 1232年、北条泰時が定めた、武士のための最初の法律。

頼朝の死後、頼朝の妻 ⁹ 北条政子 の父である北条時政が、将軍を補佐する ¹⁰ 執権 という地位について実権をにぎった。源氏の将軍が3代で絶えた後も、執権の地位は ¹¹ 北条氏 が代々受け継いで政治を動かした。これを執権政治という。

1221年、朝廷の力を取り戻そうとした後鳥羽上皇が兵を挙げたが(¹² 承久の乱)、北条政子のよびかけで結束した幕府方が勝った。幕府は京都に ¹³ 六波羅探題 を置いて朝廷を監視し、上皇方の土地に東国の御家人を地頭として置いたので、幕府の力は西国にまで広がった。

1232年、執権の ¹⁴ 北条泰時 は、武士のための最初の法律である ¹⁵ 御成敗式目 を定めた。

できた / 15